目　次

入学試験要項

Ⅰ　教育学研究科修士課程（一般選抜）…… 1
Ⅱ　教育学研究科修士課程（社会人選抜）…… 5
Ⅲ　教育学研究科修士課程（特別選抜（学内））…… 9
Ⅳ　出願書類提出注意事項一覧〔修士課程〕…… 13
Ⅴ　個別入学資格審査について …… 15
Ⅵ　東北福祉大学大学院のポリシー（教育学研究科教育学専攻）…… 16
Ⅶ　課程修了要件 …… 19
Ⅷ　学　　位 …… 19
Ⅸ　開設授業科目一覧 …… 20
Ⅹ　教職関係資格 …… 21
Ⅺ　長期履修学生規程 …… 25

入学試験過去問題

入学試験過去問題（関連科目）

修士課程　教育学専攻（一般選抜）…… 1
修士課程　教育学専攻（社会人選抜）…… 2
修士課程　教育学専攻（特別選抜）…… 4

出願書類

入学志願票
志望理由書
研究計画書
職務経歴書（該当者のみ）
受験票・写真票
住　所　票
入学受験料払込用紙

大学案内図

2025年度

東北福祉大学大学院
入 学 試 験 要 項
〈一般選抜〉

教育学研究科
（ 修 士 課 程 ）

教育学専攻

Ⅰ 教育学研究科修士課程（一般選抜）

1 募集人員等

専　攻　名	入学定員	募集人員		修業年限
		Ⅰ期	Ⅱ期	
教育学専攻	10名	2名	2名	2年

2 出願資格

⑴ 大学を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者。
⑵ 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2025年3月学士の学位を授与される見込みの者。
⑶ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または2025年3月までに修了見込みの者。
⑷ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または2025年3月までに修了見込みの者。
⑸ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2025年3月修了見込みの者。
⑹ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2025年3月修了見込みの者。
⑺ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示5号）。
⑻ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。
⑼ 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者（入学時）。

【注１】 外国の国籍を有する者は、日本学生支援機構が実施する日本留学試験を受験し、「日本語」の成績が200点以上であるか、もしくは日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験を受験し、N2（旧２級）以上に合格している必要があります。

【注２】 出願資格⑻～⑼によって出願しようとする者は、出願資格審査を行うので、事前に教務部・大学院事務室へ照会してください。

3 出願書類

⑴ 入学志願票（本学所定用紙）
⑵ 卒業（見込）証明書
⑶ 単位取得成績証明書
⑷ 学士の学位授与（見込）証明書**〈出願資格⑵に該当する者〉**
⑸「在留カード」の両面写し〈外国籍の場合〉
⑹ 卒業論文（写）〈作成してない場合は提出不要〉
⑺ 志望理由書〈2,000字程度〉
※自筆または、パソコンも可。パソコン作成の場合は、P13を参照のこと。
志望理由書は、以下の項目を基本として自由に作成してください。
① **志望動機**
② **将来の進路志望**
③ **入学後の目標と抱負**
⑻ 研究計画書〈2,000字程度〉
※自筆または、パソコンも可。パソコン作成の場合は、P13を参照のこと。
研究計画書は、以下の項目を基本として作成してください。
① **研究テーマ**
② **研究目的**
③ **研究構想・計画（研究方法・手順およびどこまで研究を進めるのかを含める）**
⑼ TOEFL または TOEIC のスコア＜試験科目（外国語（英語））の免除を希望する者
⑽ 住所票（本学所定用紙）
⑾ 振込受付証明書（本学所定用紙）

教育学研究科（修士課程）〈一般選抜〉

4 出 願 手 続

出願書類と入学受験料30,000円を出願期間中に払込取扱票にて納入してください。（本学卒業生等の入学受験料は15,000円）

5 選 抜 方 法

選抜方法は、筆記試験（専門科目・英語）、口述試験および書類審査により行う。

なお、TOEFL スコアが iBT70点、PBT523点、TOEIC650点以上のスコア原本を事前提出した受験者については、外国語（英語）の試験を免除します。（詳細については、出願書類提出注意事項一覧を確認してください。）

※英語は英和辞書のみ持込み可（**電子辞書は不可**）

6 試験科目および試験時間

研究科・専攻	試 験 時 間	科目
教育学研究科 教育学専攻	午前 9 時15分～	入室・説明
	午前 9 時30分～午前11時00分	教育学・教育関連科目
	午前11時30分～午後12時30分	英語
	午後12時30分～午後 1 時30分	昼食・説明
	午後 1 時30分～	口述試験

【受験上の注意事項】

⑴ 受験票を必ず持参してください。紛失あるいは忘れた場合は、試験会場入室前に入学試験本部へ申し出てください。

⑵ 試験当日は、午前 9 時15分までに指定された試験会場に入室し、着席してください。

⑶ やむを得ない事情による遅刻は、試験開始後20分までは受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。

⑷ 関連科目、英語、口述試験のいずれか 1 つでも受験しなかった場合は、受験を辞退したものとして取り扱います。（ただし、英語の試験を免除された者は、専門科目と口述試験を対象とします。）

⑸ 受験票は必ず携帯し、試験中は机上右側に置いてください。また試験監督者の請求があった場合は、提示してください。

⑹ 英語の試験時は、**英和辞書のみ持込み可**ですが、**電子辞書の持込みは不可**とします。

⑺ 携帯電話等は、試験会場に入室する前に電源を切ってください。

⑻ 試験会場における受験者間の物品等の貸与は、一切認めませんので注意してください。

⑼ 試験会場ではすべて試験監督者の指示に従ってください。

⑽ 入学試験等に関する問い合わせについては、教務部・大学院事務室へ連絡ください。

7 試 験 会 場

「東北福祉大学国見キャンパス」

仙台市青葉区国見 1-8-1

ＴＥＬ　022-233-3111㈹　　ダイヤルイン　022-717-3315（教務課）

8 出願上の注意事項

⑴ 出願書類はすべて郵送してください（出願書類提出用封筒にて郵送）。郵便事情を考慮しそれぞれの出願期間内に必着するよう早めに送付してください（**窓口への持参は不可とします**）。

⑵ 出願書類に記載する氏名・生年月日は、住民票または在留カードの記載どおりに記入してください。

⑶ 入学志願票に**必ず署名捺印を**してください。

なお、外国籍を有する者で入学後も通称名の使用を希望する場合は、住民票の通称名を記入してください。

⑷ 一旦受理した書類・入学受験料は、理由の如何にかかわらず返還しません。

⑸ 受験する際に特別の配慮を必要とする場合は、出願書類提出前に必ず教務部・大学院事務室に問い合わせください。

⑹　願書提出後の照会・連絡は、氏名・志望研究科専攻・研究コース・研究分野名および受験番号を明記し、返信用封筒または葉書（宛名を明記、切手を貼付すること）を同封の上、教務部・大学院事務室へ照会ください。

9 試験日および出願期間日程等

入試種別	試験日	出願期間	合格発表	入学手続期間
Ⅰ期	2024年11月２日㈯	2024年９月30日㈪ ～ 2024年10月24日㈭	2024年11月12日㈫	2024年11月12日㈫ ～ 2024年11月29日㈮
Ⅱ期	2025年２月８日㈯	2025年１月６日㈪ ～ 2025年１月30日㈭	2025年２月14日㈮	2025年２月14日㈮ ～ 2025年２月28日㈮

〔注意事項〕

※合否に関する電話等の問い合わせには一切応じません。また、掲示による発表もありません。

10 学　　費

⑴　合格者は所定の入学手続締切日までに、振込用紙を使用し所定の口座「東北福祉大学」へ振込み、必要書類を郵送してください。

⑵　締切日までに入学手続を完了しない場合は入学不可となります。締切日当日の消印および受領物は有効とします。　（2025年度用）

			本学卒業生等	本学卒業生等以外からの入学者
※入学申込金（入学金）				100,000円
授業料			478,000円	478,000円
施設設備資金			58,000円	117,500円
厚生費			20,000円	20,000円
後援会費			24,200円	24,200円
納入方法	全納方式		580,200円	739,700円
	分納方式	入学時	341,200円	500,700円
		９月	239,000円	239,000円

※　入学申込金は入学許可証が発行された時点で入学金として振替えます。

（注）①　諸納金は「全納方式」もしくは「分納方式」のどちらかを選択し、納入します。

「全納方式」

諸納金一括納入

「分納方式」

諸納金の内後期授業料を除いた全額を納入

後期授業料は2025年９月末日まで納入

②　学費スライド制の適用について、次年度以降はスライド制を適用により改訂します。

【入学辞退について】

合格者で入学手続を完了した者が、止むを得ない事情で入学を辞退する場合は、本学教務部・大学院事務室へ連絡のうえ、**2025年３月31日㈪16時00分まで入学辞退届（本学所定用紙）**を提出した場合に限り、入学申込金（入学金）を除いたその他の諸納金を返還します。

なお、入学辞退届用紙は教務部・大学院事務室宛に請求し、提出は教務部・大学院事務室へ持参または速達便で郵送してください。郵送の場合は締切日必着とします。

※本学卒業生等とは、以下の方をいいます。

①本学学部を卒業後、直ちに本学大学院に進学する方

②本学学部または大学院を過去に卒業または修了した方

③本学で現に雇用されている常勤の教職員

④本学の関連法人（社会福祉法人東北福祉会および医療法人社団東北福祉会）の職員であり、関連法人からリーダー養成の一環として推薦された方

⑤本学学生の実習受け入れ等に協力することについて本学との間で協定を締結した施設や団体の職員であり、当該施設等からリーダー養成の一環として推薦された方

⑥現に福祉や医療等の現場で仕事に携わっており、キャリア形成のため本学大学院の科目等履修生となり、スキルアップ講座または履修証明プログラムに参加した方

11 大学院所在地（問い合わせ先）

〒989-3201
仙台市青葉区国見ケ丘 6-149-1
ＴＥＬ　022-727-2288
ＦＡＸ　022-728-6420
E-mail:graduate@tfu.ac.jp
http://www.tfu.ac.jp/

2025年度

東北福祉大学大学院
入 学 試 験 要 項
〈社会人選抜〉

教育学研究科
（ 修 士 課 程 ）

教育学専攻

Ⅱ 教育学研究科修士課程（社会人選抜）

1 募集人員等

専　攻　名	入学定員	募集人員		修業年限
		Ⅰ期	Ⅱ期	
教育学専攻	10名	1名	1名	2年

2 出願資格

社会人入学試験に出願できる者は、原則として3年以上の社会的実務経験を有する者（入学時）で、下記の⑴～⑽のいずれかに該当する者とします。

また、主婦の場合は職業を有していなくとも差し支えありません。

⑴ 大学を卒業した者。
⑵ 本学学部に社会人特別選抜で入学し卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者。
⑶ 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2025年3月学士の学位を授与される見込みの者。
⑷ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または2025年3月までに修了見込みの者、または2025年3月修了見込みの者。
⑸ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者。または2025年3月までに修了見込みの者。
⑹ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または2025年3月修了見込みの者。
⑺ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2025年3月修了見込みの者。
⑻ 文部科学大臣が指定した者。（昭和28年文部省告示第5号）
⑼ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。
⑽ 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者。（入学時）

【注１】 外国の国籍を有する者は、日本学生支援機構が実施する日本留学試験を受験し、「日本語」の成績が200点以上であるか、もしくは日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験を受験し、N2（旧２級）以上に合格している必要があります。

【注２】 社会人選抜入学試験に出願予定の者で、出願資格⑼～⑽によって出願しようとする者は、出願資格審査を行うので、事前に教務部・大学院事務室へ照会してください。

【注３】 社会的実務経験とは、企業・官公庁等における勤務（臨時雇用でも継続的なものであればよい）のほかに、家事・家業に継続して従事したことを含む。

3 出願書類

⑴ 入学志願票（本学所定用紙）
⑵ 職務経歴書（本学所定用紙）
⑶ 卒業（見込）証明書
⑷ 単位取得成績証明書
⑸ 学士の学位授与（見込）証明書〈出願資格の⑶に該当する者〉
⑹「在留カード」の両面写し（外国籍の場合）
⑺ 卒業論文（写）〈作成していない場合は提出不要〉
⑻ 志望理由書〈2,000字程度〉

※自筆または、パソコンも可。パソコン作成の場合は、P13を参照のこと。

志望理由書は、以下の項目を基本として自由に作成してください。

① 志望動機
② 将来の進路志望
③ 入学後の目標と抱負

⑼　研究計画書〈2,000字程度〉
※自筆または、パソコンも可。パソコン作成の場合は、P13を参照のこと。
研究計画書は、以下の項目を基本として作成してください。
①　**研究テーマ**
②　**研究目的**
③　**研究構想・計画（研究方法・手順およびどこまで研究を進めるのかを含める）**
⑽　住所票（本学所定用紙）
⑾　振込受付証明書（本学所定用紙）

4 出 願 手 続

出願書類と入学受験料30,000円を出願期間中に払込取扱票にて納入してください。（本学卒業生等の入学受験料は15,000円）

5 選 抜 方 法

選抜方法は、小論文、口述試験および書類審査により行う。

6 試験科目および試験時間

研究科・専攻・分野	試 験 時 間	科目
教育学研究科 教育学専攻	午前９時15分～	入室・説明
	午前９時30分～午前10時30分	小論文
	午前11時00分～	口述試験

【受験上の注意事項】
⑴　受験票を必ず持参してください。紛失あるいは忘れた場合は、試験会場入室前に入学試験本部へ申し出てください。
⑵　試験当日は、午前９時15分までに指定された試験会場に入室し、着席してください。
⑶　やむを得ない事情による遅刻は、試験開始後20分までは受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
⑷　小論文、口述試験のいずれか１つでも受験しなかった場合は、受験を辞退したものとして取り扱います。
⑸　受験票は必ず携帯し、試験中は机上右側においてください。また試験監督者の請求があった場合は提示してください。
⑹　携帯電話等は、試験会場に入室する前に電源を切ってください。
⑺　試験会場における受験者間の物品等の貸与は、一切認めませんので注意してください。
⑻　試験会場ではすべて試験監督者の指示に従ってください。
⑼　入学試験等に関する問い合わせについては、教務部・大学院事務室へ連絡ください。

7 試 験 会 場

「東北福祉大学国見キャンパス」
仙台市青葉区国見 1-8-1
ＴＥＬ　022-233-3111㈹　　ダイヤルイン　022-717-3315（教務課）

8 出願上の注意事項

⑴　出願書類はすべて郵送してください（出願書類提出用封筒にて郵送）。郵便事情を考慮しそれぞれの出願期間内に必着するよう早めに送付してください（**窓口への持参は不可とします**）。
⑵　出願書類に記載する氏名・生年月日は、住民票または在留カードの記載どおりに記入してください。
なお、外国籍を有する者で入学後も通称名の使用を希望する場合は、住民票の通称名を記入してください。
⑶　入学志願票に**必ず署名捺印を**してください。
⑷　一旦受理した書類・入学受験料は、理由の如何にかかわらず返還しません。
⑸　受験する際に特別の配慮を必要とする場合は、出願書類提出前に必ず教務部・大学院事務室に問い合わせください。
⑹　願書提出後の照会・連絡は、氏名・志望研究科専攻名および受験番号を明記し、返信用封筒または葉書（宛名を明記し、切手を貼付すること）を同封の上、教務部・大学院事務室へ照会ください。

9 試験日および出願期間日程等

入試種別	試験日	出願期間	合格発表	入学手続期間
Ⅰ期	2024年11月２日㈯	2024年９月30日㈪ ～ 2024年10月24日㈭	2024年11月12日㈫	2024年11月12日㈫ ～ 2024年11月29日㈮
Ⅱ期	2025年２月22日㈯	2025年１月27日㈪ ～ 2025年２月18日㈫	2025年３月４日㈫	2025年３月４日㈫ ～ 2025年３月17日㈪

〔注意事項〕

※１　合否に関する電話等の問い合わせには一切応じません。また、掲示による発表もありません。

10 学　　費

⑴　合格者は所定の入学手続締切日までに、振込用紙を使用し所定の口座「東北福祉大学」へ振込み、必要書類を郵送してください。

⑵　締切日までに入学手続を完了しない場合は入学不可となります。締切日当日の消印および受領物は有効とします。

（2025年度用）

			本学卒業生等	本学卒業生等以外からの入学者
※入学申込金（入学金）				100,000円
授業料			478,000円	478,000円
施設設備資金			58,000円	117,500円
厚生費			20,000円	20,000円
後援会費			24,200円	24,200円
納入方法	全納方式		580,200円	739,700円
	分納方式	入学時	341,200円	500,700円
		９月	239,000円	239,000円

※　入学申込金は入学許可証が発行された時点で入学金として振替えます。

（注）①　諸納金は「全納方式」もしくは「分納方式」のどちらかを選択し、納入します。

「全納方式」

諸納金一括納入

「分納方式」

諸納金の内後期授業料を除いた全額を納入

後期授業料は2025年９月末日まで納入

②　学費スライド制の適用について、次年度以降はスライド制を適用により改訂します。

【入学辞退について】

合格者で入学手続を完了した者が、止むを得ない事情で入学を辞退する場合は、本学教務部・大学院事務室へ連絡のうえ、**2025年３月31日㈪16時00分まで入学辞退届（本学所定用紙）**を提出した場合に限り、入学申込金（入学金）を除いたその他の諸納金を返還します。

なお、入学辞退届用紙は教務部・大学院事務室宛に請求し、提出は教務部・大学院事務室へ持参または速達便で郵送してください。郵送の場合は締切日必着とします。

※本学卒業生等とは、以下の方をいいます。

①本学学部を卒業後、直ちに本学大学院に進学する方

②本学学部または大学院を過去に卒業または修了した方

③本学で現に雇用されている常勤の教職員

④本学の関連法人（社会福祉法人東北福祉会および医療法人社団東北福祉会）の職員であり、関連法人からリーダー養成の一環として推薦された方

⑤本学学生の実習受け入れ等に協力することについて本学との間で協定を締結した施設や団体の職員であり、当該施設等からリーダー養成の一環として推薦された方

⑥現に福祉や医療等の現場で仕事に携わっており、キャリア形成のため本学大学院の科目等履修生となり、スキルアップ講座または履修証明プログラムに参加した方

教育学研究科（修士課程）〈社会人選抜〉

11 大学院所在地（問い合わせ先）

〒989-3201
仙台市青葉区国見ケ丘 6-149-1
ＴＥＬ　022-727-2288
ＦＡＸ　022-728-6420
E-mail:graduate@tfu.ac.jp
http://www.tfu.ac.jp/

2025年度

東北福祉大学大学院
入 学 試 験 要 項
〈特別選抜（学内）〉

教育学研究科
（ 修 士 課 程 ）

教育学専攻

Ⅲ 教育学研究科修士課程（特別選抜（学内））

1 募集人員等

専　攻　名	入学定員	募集人員		修業年限
		Ⅰ期	Ⅱ期	
教育学専攻	10名	2名	2名	2年

2 出願資格

(1) 東北福祉大学の学部4年次に在学し、2025年3月卒業見込みの者で、以下の条件を満たしている者。

①学部3年次までに卒業に必要な修得科目数のうち、100単位以上を修得し、かつ、卒業要件総修得科目のうち「秀」「優」評価が $\frac{1}{2}$ 以上の者。

3 出願書類

(1) 入学志願票（本学指定用紙）
(2) 卒業見込証明書
(3) 単位取得成績証明書（3年次までの取得単位が記載されているもの）
※編・学士入学している者は、編・学士入学前の成績証明書1通を提出してください。
(4) 「在留カード」の両面写し〈外国籍の場合〉
(5) 卒業論文の素案要旨（400字詰め原稿用紙換算で10枚程度）
〈作成しない場合は提出不要〉
(6) 志望理由書〈2,000字程度〉
※自筆または、パソコンも可。パソコン作成の場合は、P13を参照のこと。
志望理由書は、以下の項目を基本として作成してください。
① **志望動機**
② **将来の進路志望**
③ **入学後の目標と抱負**
(7) 研究計画書〈2,000字程度〉
※自筆または、パソコンも可。パソコン作成の場合は、P13を参照のこと。
研究計画書は、以下の項目を基本として作成してください。
① **研究テーマ**
② **研究目的**
③ **研究構想・計画（研究方法・手順およびどこまで研究を進めるのかを含める）**
(8) 住所票（本学指定用紙）
(9) 振込受付証明書（本学指定用紙）

4 出願手続

出願書類と入学受験料15,000円を出願期間中に払込取扱票にて納入してください。

5 選抜方法

選抜方法は小論文、口述試験および書類審査により行う。

教育学研究科（修士課程）〈特別選抜（学内）〉

6 試験科目および試験時間

研究科・専攻	試験時間	科目
教育学研究科 教育学専攻	午前９時15分～	入室・説明
	午前９時30分～午前10時30分	小論文
	午前11時～	口述試験

【受験上の注意事項】

⑴　受験票を必ず持参してください。紛失あるいは忘れた場合は、試験会場入室前に入学試験本部へ申し出てください。
⑵　試験当日は、午前９時15分までに指定された試験会場に入室し、着席してください。
⑶　やむを得ない事情による遅刻は、試験開始後20分までは受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
⑷　小論文、口述試験のいずれか１つでも受験しなかった場合は、受験を辞退したものとして取り扱います。
⑸　受験票は必ず携帯し、試験中は机上右側においてください。また試験監督者の請求があった場合は提示してください。
⑹　携帯電話等は、試験会場に入室する前に電源を切ってください。
⑺　試験会場における受験者間の物品等の貸与は、一切認めませんので注意してください。
⑻　試験会場ではすべて試験監督者の指示に従ってください。
⑼　入学試験等に関する問い合わせについては、教務部・大学院事務室へ連絡ください。

7 試 験 会 場

「東北福祉大学国見キャンパス」
仙台市青葉区国見1-8-1
ＴＥＬ　022-233-3111㈹　　ダイヤルイン　022-717-3315（教務課）

8 出願上の注意事項

⑴　出願書類はすべて郵送してください（出願書類提出用封筒にて郵送）。郵便事情を考慮し、それぞれの出願期間内に必着するよう早めに送付してください（**窓口への持参は不可とします**）。
⑵　出願書類に記載する氏名・生年月日は、住民票または在留カードの記載どおりに記入してください。
　なお、外国籍を有する者で入学後も通称名の使用を希望する場合は、住民票の通称名を記入してください。
⑶　入学志願票に**必ず署名捺印を**してください。
⑷　一旦受理した書類・入学受験料は、理由の如何にかかわらず返還しません。
⑸　受験する際に特別の配慮を必要とする場合は、出願書類提出前に必ず教務部・大学院事務室に問い合わせください。
⑹　願書提出後の照会・連絡は、氏名・志望研究科専攻名・研究コース・研究分野名および受験番号を明記し、返信用封筒または葉書（宛名を明記し、切手を貼付すること）を同封の上、教務部・大学院事務室へ照会ください。

9 試験日および出願期間日程等

入試種別	試験日	出願期間	合格発表	入学手続期間
Ⅰ期	2024年10月５日㈯	2024年９月２日㈪ ～ 2024年９月26日㈭	2024年10月15日㈫	2024年10月15日㈫ ～ 2024年10月31日㈭
Ⅱ期	2025年２月22日㈯	2025年１月27日㈪ ～ 2025年２月18日㈫	2025年３月４日㈫	2025年３月４日㈫ ～ 2025年３月17日㈪

〔注意事項〕

※1　合否に関する電話等の問い合わせには一切応じません。また、掲示による発表もありません。

10 学　　費

(1)　合格者は所定の入学手続締切日までに、振込用紙を使用し所定の口座「東北福祉大学」へ振込み、必要書類を郵送してください。

(2)　締切日までに入学手続を完了しない場合は入学不可となります。締切日当日の消印および受領物は有効とします。　　（2025年度用）

			本学卒業生等
※入学申込金（入学金）			
授業料			478,000円
施設設備資金			58,000円
厚生費			20,000円
後援会費			24,200円
納入方法	全納方式		580,200円
	分納方式	入学時	341,200円
		9月	239,000円

（注）①　諸納金は「全納方式」もしくは「分納方式」のどちらかを選択し、納入します。

「全納方式」

諸納金一括納入

「分納方式」

諸納金の内後期授業料を除いた全額を納入

後期授業料は2025年9月末日まで納入

②　学費スライド制の適用について、次年度以降はスライド制を適用により改訂します。

【入学辞退について】

合格者で入学手続を完了した者が、止むを得ない事情で入学を辞退する場合は、本学教務部・大学院事務室へ連絡のうえ、**2025年3月31日㈪16時00分まで入学辞退届（本学所定用紙）**を提出した場合に限り、入学申込金（入学金）を除いたその他の諸納金を返還します。

なお、入学辞退届用紙は教務部・大学院事務室宛に請求し、提出は教務部・大学院事務室へ持参または速達便で郵送してください。郵送の場合は締切日必着とします。

※本学卒業生等とは、以下の方をいいます。

①本学学部を卒業後、直ちに本学大学院に進学する方

②本学学部または大学院を過去に卒業または修了した方

③本学で現に雇用されている常勤の教職員

④本学の関連法人（社会福祉法人東北福祉会および医療法人社団東北福祉会）の職員であり、関連法人からリーダー養成の一環として推薦された方

⑤本学学生の実習受け入れ等に協力することについて本学との間で協定を締結した施設や団体の職員であり、当該施設等からリーダー養成の一環として推薦された方

⑥現に福祉や医療等の現場で仕事に携わっており、キャリア形成のため本学大学院の科目等履修生となり、スキルアップ講座または履修証明プログラムに参加した方

11 大学院所在地（問い合わせ先）

〒989-3201

仙台市青葉区国見ケ丘6-149-1

ＴＥＬ　022-727-2288

ＦＡＸ　022-728-6420

E-mail:graduate@tfu.ac.jp

http://www.tfu.ac.jp/

注　意　事　項

Ⅳ 出願書類提出注意事項一覧 【修士課程】

出願書類	一般	外国人留学生	社会人	摘要
入学志願票	○	○	○	・必要事項を記入してください。 ・捺印を忘れずに押印のこと、捺印なしの場合は出願書類を受理しませんので注意してください。 ・縦4㎝×横3㎝の写真（正面上半身脱帽、背景無、出願前3ヵ月以内に撮影したもの）の裏面に氏名・出身大学等名を記入し、全面糊付貼付してください。 ・合否通知書等受信住所と住所票は必ず一致するようにしてください。
入学受験料	○	○	○	・払込取扱票にて納付してください。
受験票	○	○	○	・必要事項を記入してください。 ・縦4㎝×横3㎝の写真（正面上半身脱帽、背景無、出願前3ヵ月以内に撮影したもの）の裏面に氏名・出身大学等名を記入し、全面糊付貼付してください。
振込受付証明書	○	○	○	・志願票に必ず貼付してください。
写真票	○	○	○	・必要事項を記入してください。 ・出願書類と一緒に提出してください。 ・縦4㎝×横3㎝の写真（正面上半身脱帽、背景無、出願前3ヵ月以内に撮影したもの）の裏面に氏名・出身大学等名を記入し、全面糊付貼付してください。
卒業（見込）証明書	○	○	○	・出願資格に該当する出身大学の学長または学部長が作成したものを提出してください。
単位取得成績証明書	○	○	○	・出願資格に該当する出身大学の学長または学部長が作成したものを提出してください。
学士の学位授与（見込）証明書〈該当者のみ〉	●	●	●	・学位授与機構が発行する学士の学位授与（見込）証明書を提出してください。（一般選抜出願資格(2)・社会人選抜出願資格(3)に該当する者）
「在留カード」の両面写し		●		・日本に滞在中の者は提出してください。
志望理由書	○	○	○	・①、②、③を基本として自筆またはパソコンで2,000字程度作成してください。 ・パソコンの場合は、A4判用紙横書き、10.5ポイント、40字×40行で作成、必ず志望する専攻を入れる事。
研究計画書	○	○	○	・①、②、③を基本として自筆またはパソコンで2,000字程度作成してください。 ・パソコンの場合は、A4判用紙横書き、10.5ポイント、40字×40行で作成、必ず志望する専攻を入れる事。
職務経歴書（社会人志願者全員提出）		●	○	・必要事項を記入してください。 ・研究計画に関する過去の職務内容については、箇条書きでも構いません。 ・研究業績等については、年度月別順に記入してください。
卒業論文	●	●	●	・大学を卒業している志願者で、卒業論文（コピー可）を作成した者は、提出してください。（試験終了後返却） ・大学卒業見込の志願者で、卒業論文を作成見込み者は、概要（コピー可）を所定の欄に記入してください。

注意事項

Ⅳ 出願書類提出注意事項一覧 【修士課程】

出願書類	一般	外国人留学生	社会人	摘要
受験配慮希望票	●	●	●	・身体等に障がいを有し配慮を希望される方は、教務部・大学院事務室より「受験配慮希望票」を取り寄せてください。 ※状況に応じて面談をお願いする場合があります。
外国語の免除に必要な書類 TOEFL は Official Score Report（公式スコア表） TOEIC は Official Score Certificate（公式認定証）	●	●		・スコア原本または原本証明付記の写しは、出願書類とあわせて送付してください。願書提出後でのスコアの追加または差替えは認めません。また複数の異なる試験のスコアを提出することもできます。なお、入学試験実施日から遡って**過去2年以内**に受験したものを有効とします。 ・TOEFL スコアが iBT70点、PBT523点、TOEIC650点以上のいずれかの試験スコアを採用します。団体受験用の TOEFL-ITP および TOEIC-IP テストは認めません。スコア原本を事前提出した受験者については、英語の試験を免除します。
日本語能力を証明する書類		○		・日本学生支援機構が実施する日本留学試験の、「日本語」の成績が200点以上である事を証明する書類、もしくは、日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験において、N2（旧 2 級）以上に合格していることが証明できる書類を提出してください。
受験票送付用封筒	○	○	○	・封筒に郵便番号・住所・氏名を明記してください。
住所票	○	○	○	・合否通知書等送付用として使用します。
出願書類送付用封筒	○	○	○	・出願書類が揃っているかチェック欄にチェックしてください。

※　**書類作成日等の年号は、西暦で記入してください。**
※　●印については、**該当者のみ**が提出してください。
※　**外国語で作成された書類**には、**必ず日本語訳を添付**してください。

上記出願書類を募集要項に添付されている封筒に入れて郵送してください。

Ⅴ 個別入学資格審査について

東北福祉大学大学院では下記の入学資格に該当する方が、本学大学院への入学を希望し出願しようとする場合には、事前に個別の入学資格審査（個別審査）を受けなければなりません。入学資格審査によって入学資格を認められた方に限り、入学試験受験の出願を認めることになりました。

資格審査該当者は、事前に教務部・大学院事務室（022-727-2288）へ照会の上、事前審査の申請等必要な手続を行ってください。

記

【１】入学資格（資格審査を要するもの）

＜修士課程＞

大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者。（入学時）

（対象者は、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等）

［文部省令第34号（平成11年８月31日） 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）の一部改正による］

【２】資格審査出願に必要な書類

① 表紙（氏名・志望課程・研究科・専攻名等を記入） 様式自由

② 最終学校卒業（見込）証明書

③ 最終学校単位取得成績証明書

④ 志望理由書（本学所定用紙）＜提出枚数：自由＞ 出願書類添付 ※自筆またはパソコン可。
パソコンの場合は、A4判用紙横書き、10.5ポイント、40字×40行で作成。

志望理由書は、以下の項目を基本として作成してください。

「ア」 志望動機

「イ」 将来の進路志望

「ウ」 入学後の目標と抱負

⑤ 研究計画書（本学所定用紙）＜2,000字程度＞ 出願書類添付 ※自筆またはパソコン可。
パソコンの場合は、A4判用紙横書き、10.5ポイント、40字×40行で作成。

「ア」 研究テーマ

「イ」 研究目的

「ウ」 研究構想・計画

研究方法・手順およびどこまで研究を進めるのかを含める。

⑥ 履歴書 様式自由

・学歴・職業歴等（職務内容明記）および社会での活動歴

・連絡先の電話番号（携帯・職場等電話）を必ず明記してください。

⑦ その他

著書、論文等がある場合は、その現物またはコピー

【３】入学資格審査出願受付期間および提出先

① 受付期間

2024年８月13日㈫～８月30日㈮

2025年１月６日㈪～１月14日㈫

② 合格発表

2024年９月４日㈬ 本人宛合否通知書送付

2025年１月21日㈫ 本人宛合否通知書送付

注意事項

③　提出先

＜教務部・大学院事務室＞

受付時間　（平日）9：00～17：00

【４】入学資格審査の審査料

審査料は不要です。

【５】入学試験受験出願手続

①　入学資格審査に合格した方は、入学試験の出願手続を行ってください。
入学試験出願締切日は、入学試験要項に記載されております。

②　入学資格審査に合格後、入学試験に出願する場合は、資格審査出願書類の②～⑤の書類は、**提出不要**です。

Ⅵ 東北福祉大学大学院のポリシー

教育学研究科

教育研究上の目的

本専攻は、本学の建学の精神と教育現場の要請に応じ、通常学級におけるさまざまな困難を示す児童生徒や特別支援学級の児童生徒の指導、支援において、課題の解決に向けて多角的・科学的にアプローチし、実践的指導力とコーディネート力を持つ教育現場の中核となる教員として、また、専門性の高い理論と豊かな実践力を身に付けた教育研究者として、これからの教育に貢献できる人材の育成を目的としています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

教育への使命感と熱意を持ち、特別な教育的ニーズを有する児童生徒にかかわる諸問題について関心が高く、自らの知識・技能を高め、高い専門性と実践力を身に付け、それら諸問題を多面的に研究したいという学生の入学を希望します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

「共生社会」の構築に貢献するという本研究科の理念のもと、教育に関する高度な専門的知識・技能とそれらを支える理論的基礎を学修します。さらに、特別な教育的ニーズを有する児童生徒にかかわる諸問題を自ら発見する視点を学修し、その具体的かつ実践的な解決策を探究してきた過程を修士論文としてまとめます。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位の授与に関する方針）

特別な教育的ニーズを有する児童生徒への教育に関する高度な資質・能力とそれらを支える理論的基礎に基づき、「共生社会」の構築に向けて現代社会が抱える問題を発見し、教育に関する諸問題の解決を具体的に推進しうる研究者、高度職業人として認められたものに「修士（教育学）」を授与します。

◆教育学専攻

教育研究上の目的

本専攻は、本学の建学の精神と教育現場の要請に応じ、通常学級におけるさまざまな困難を示す児童生徒や特別支援学級の児童生徒の指導、支援において、課題の解決に向けて多角的・科学的に

アプローチし、実践的指導力とコーディネート力を持つ教育現場の中核となる教員として、また、専門性の高い理論と豊かな実践力を身に付けた教育研究者として、これからの教育に貢献できる人材の育成を目的としています。

教育目標

本専攻は、本学の建学の精神である「行学一如」を基盤とし、教育学に関する高度な知識と技術を学び、個人から社会の広義の教育に幅広い専門的知見を持ち、教育に関する研究や教育の実践ができる人材育成をめざしています。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

1．求める院生像

教育への使命感と熱意を持ち、特別な教育的ニーズを有する児童生徒にかかわる諸問題について関心が高く、自らの知識・技能を高め、高い専門性と実践力を身に付け、それら諸問題を多面的に研究したいという学生の入学を希望します。

2．入学前に培うことを求める力

(1) 教育学の研究と実践を進めるために必要な知識・技法と論理的思考、判断力を培うことを求めます。
(2) 合理的、論理的思考力、判断力そして表現力などを培うことを求めます。
(3) 人間関係において主体性を持ちながら他者を尊重し、共感性を持って接し、協働できる力を培うことを求めます。

3．評価方法

(1) 人材を選抜するために複数の入試制度を設けています。
(2) すべての入試において志願理由書と研究計画書などの書類の提出を求め、前項2. の（1)～(2) を評価します。
(3) すべての入試において口述試験を行い、前項 2 の（3）を評価します。
(4) 一般選抜および特別選抜推薦（学内）では、筆記試験を行います。社会人選抜では、小論文を行います。筆記試験または小論文により前項 2 の（1）を評価します。

4．入学前に学習することを期待される内容

(1) 教育学に関するそれぞれの研究対象領域の基礎的知識を学修しておくことを期待します。
(2) 学際的な知識の修得のために必要な基礎的英語能力を学修しておくことを期待します。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

1．教育課程編成

「共生社会」の構築に貢献するという本研究科の理念のもと、教育に関する高度な専門的知識・技能とそれらを支える理論的基礎を学修します。さらに、特別な教育的ニーズを有する児童生徒にかかわる諸問題を自ら発見する視点を学修し、その具体的かつ実践的な解決策を探究してきた過程を修士論文としてまとめます。

2．学修方法・学修課程

(1) 講義科目　アクティブ・ラーニングを取り入れた指導
問題解決型学習（PBL)、役割体験学習、課題学習などを行います。院生同士のディスカッション、教員と院生とのディスカッションを行い、アクティブ・ラーニングを交えながら学修

注意事項

の目的・内容の理解を深めます。

(2) 演習科目　ディスカッションや実践を通した課題の理解

課題をレポートにまとめ、プレゼンテーションし、院生間、院生と教員間でディスカッションをし、課題の理解を深めていきます。

(3) 研究指導の内容や方法　綿密な個別指導と発表会等による指導

実証的、論理的な研究を進めるため、院生一人ひとりに指導教員を定め、テーマの選定や実証方法・分析方法の選択、論文構成や内容等に関して、綿密な指導を行っています。また、中間発表会・報告会等により集団指導を行っています。

(4) 学修成果の把握・評価の方法と指標

課題のレポートのまとめ方、プレゼンテーション能力、ディスカッション能力、修了課題のレポート等から総合的に評価をします。

(5) 研究倫理教育　eラーニングと研究活動・実習を通じた研究倫理の修得

実習などでのレポート作成に関しての守秘義務や個人情報の保護等の重要性を指導しています。レポート、修士論文等に関しては、引用文献・参考文献の明示を行い、剽窃のないように作成することを指導しています。研究活動を通じて、研究協力者の個人情報の保護、協力を拒否または撤回できる権利があることなどを協力者に説明する能力を高めるように指導しています。また、日本学術振興会の「研究倫理eラーニングコース」なども使って学修します。

(6) キャリア支援　学会や研修会などへの参加・職業倫理教育の実施

研究成果を学会発表や論文発表などにより学外へ発信するとともに、常に新しい知見を取り入れるために、学会や研究会などに参加して研鑽をするように指導します。さらに、職業人としての倫理観を持つためにハラスメントの防止について指導していきます。特に、高度専門職をめざす院生には、教育現場での課題を解決する力を持たせるとともに、学校でリーダーシップをとることのできる、積極的な姿勢を涵養していきます。また、研究者をめざす院生には、研究を遂行していく力を涵養していきます。

3．学修成果の評価のあり方

(1) レポート、プレゼンテーション、ディスカッションの内容等から総合的に評価をします。

(2) 本研究科では、受け身の学修でなく、自らレポート課題、研究課題、実習課題を設定し、主体的に課題解決に取り組むことを求めています。課題選択のレベル、成果までの過程の分析や結果について、合理的、実証的にまとめているかを評価しています。

(3) 院生自身は、本学独自の学修ポートフォリオによって学びの過程と学位授与の方針の達成度を視覚化して確認します。

(4) 修士論文は、公開された口述試問を経て、総合的に評価されます。

ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位の授与に関する方針)

1．院生が身に付けるべき資質・能力

特別な教育的ニーズを有する児童生徒への教育に関する高度な資質・能力とそれらを支える理論的基礎に基づき、「共生社会」の構築に向けて現代社会が抱える問題を発見し、教育に関する諸問題の解決を具体的に推進できます。

2．学位授与の要件

必修科目および選択必修科目を含む30単位以上の単位を取得し、前項の資質・能力を持つ高度職業人、研究者として認められたものに「修士（教育学)」を授与します。

Ⅶ 課程修了要件

【修士課程】

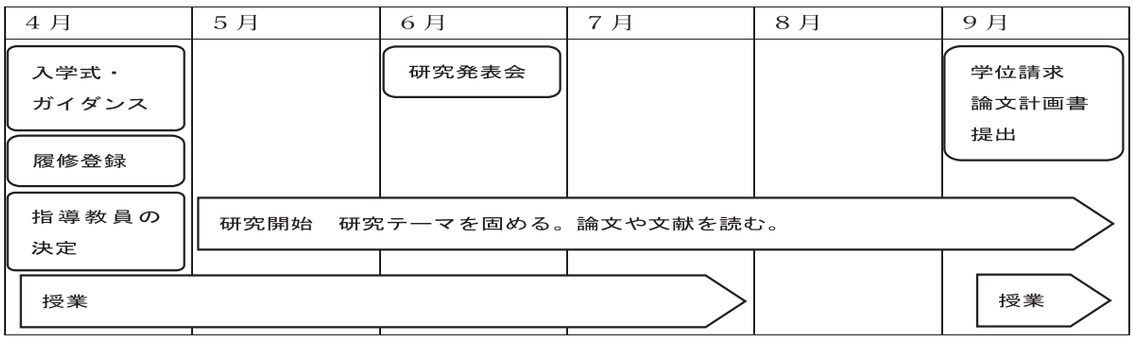
修了要件は、同課程に２年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上修得かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文（修士論文）を提出し、論文審査および最終試験に合格しなければならない。

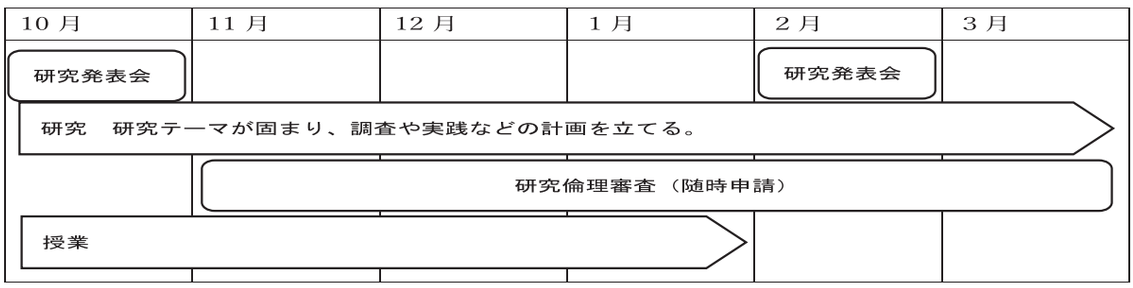
Ⅷ 学　　位

研　究　科	修　士　課　程	
	専　　攻	学　　位
教育学研究科	教育学専攻	修士(教育学)

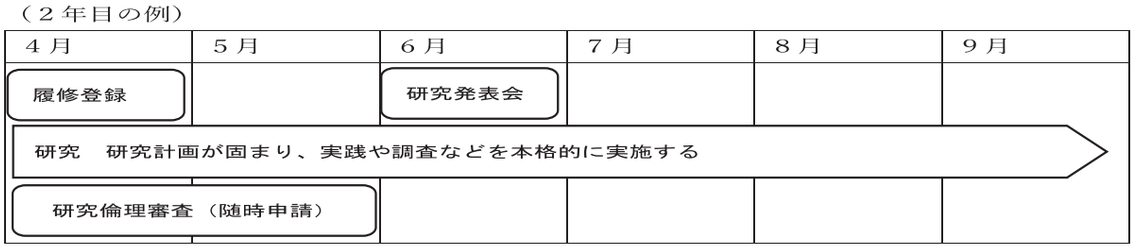
【教育学研究科】修士論文提出・終了までの流れ

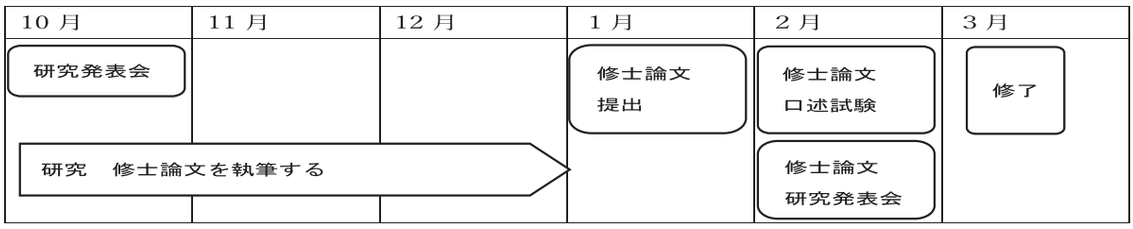
（１年目の例）





（２年目の例）





Ⅸ 開設授業科目一覧

教育学研究科　教育学専攻　（修士課程）

区分	授業科目	単位数			履修年次	備考
		必修	選択必修	選択		
I（研究指導）	研究指導 I（研究・論文指導）	4			1 年以上	
	研究指導 II（研究・論文指導）	4			2 年	
II（教育方法研究分野）	教育思想史特論			2	1 年以上	
	教育社会学特論			2	1 年以上	
	教師教育学特論			2	1 年以上	
	教育情報学特論			2	1 年以上	
	教育心理学特論			2	1 年以上	
	教授学習心理学特論			2	1 年以上	
	臨床発達心理学特論			2	1 年以上	
	保育学特論			2	1 年以上	
	福祉社会学特論			4	1 年以上	
	教育学特別研究 I（教育・発達分野）		2		1 年以上	いずれか 1 科目 2 単位以上を選択履修のこと
	教育学特別研究 II（教育情報分野）		2		1 年以上	
	教育学特別研究 III（特別支援教育分野）		2		1 年以上	
	授業分析研究 A（人文社会科学系領域）			2	1 年以上	
	授業分析研究 B（自然科学系領域）			2	1 年以上	
	授業開発研究特論			2	1 年以上	
	国語科教育特論			2	1 年以上	
	社会科教育特論			2	1 年以上	
	算数科教育特論			2	1 年以上	
	理科教育特論			2	1 年以上	
	歴史学特論			4	1 年以上	
	政治学特論			4	1 年以上	
	経済学特論			4	1 年以上	
	法律学特論			4	1 年以上	
	地理学特論			4	1 年以上	
	地域調査特別研究（実習を含む）			4	1 年以上	
III（特別支援教育研究分野）	特別支援教育学特論	2			1 年以上	
	発達障害者教育特論			2	1 年以上	
	障害児学習支援特論			2	1 年以上	
	障害児・者の心理特論			2	1 年以上	
	言語障害者教育特論			2	1 年以上	
	自閉症者・情緒障害者教育特論			2	1 年以上	
	聴覚障害者教育特論			2	1 年以上	
	知的障害者教育特論			2	1 年以上	
	肢体不自由者教育特論			2	1 年以上	
	病弱者教育特論			2	1 年以上	
	児童精神医学特論			2	1 年以上	
	障害児教育支援特論			2	1 年以上	
	障害者福祉特論			2	1 年以上	
	特別支援教育コーディネーター特論			2	1 年以上	
	発達障害児教育実践研究			2	1 年以上	

＊修了要件は、30単位以上とする。
＊履修方法は、必修科目 3 科目10単位、選択必修科目 1 科目 2 単位の他、II 群～III 群より計18単位以上の合計30単位以上履修すること。
＊専修免許状（小学校・中学校、高等学校、特別支援学校）取得方法については、別に定める。

教職関係資格

X 教職関係資格

教員資格（教育職員免許状）について

1 教員免許状取得の方法

大学院修了後、教育職員（以下教員と略述）を希望するものは、「教育職員免許法」に基づき所定の単位を修得することによって「教育職員免許状」が取得できます。
その科目は、

①教職に関する科目	取得希望の免許教科に関係なく修得しなければならない
②教科に関する科目	取得希望の免許に応じて修得しなければならない
③教科または教職に関する科目	取得希望の免許に応じて修得しなければならない
④特別支援学校に関する科目	取得希望の免許に応じて修得しなければならない

2 専修免許状について

小学校教諭専修免許状・中学校教諭専修免許状・高等学校教諭専修免許状・特別支援学校教諭専修免許状の授与を受けるためには、以下の要件をすべて満たさなければならない。

1　当該学校および教科について、一種免許状の授与資格を有すること。
2　修士の学位を有すること。
3　本大学院において、当該教科に関する科目または教職に関する科目について、24単位以上を修得すること。
　科目・単位数並びに履修方法については別表 1 ～ 5 のとおりとする。

3 取得できる免許状の種類と免許教科

免許状の種類	免許教科	取得資格条件	対象研究科
小学校教諭専修免許状		(1) 修士の学位を有すること。 (2) 一種免許状の授与資格を有すること	教育学研究科
中学校教諭専修免許状	社会	(1) 修士の学位を有すること。 (2) 一種免許状の授与資格を有すること	教育学研究科
高等学校教諭専修免許状	地理歴史	(1) 修士の学位を有すること。 (2) 一種免許状の授与資格を有すること	教育学研究科
高等学校教諭専修免許状	公民	(1) 修士の学位を有すること。 (2) 一種免許状の授与資格を有すること	教育学研究科
特別支援学校教諭専修免許状	知的・肢体・病弱	(1) 修士の学位を有すること。 (2) 一種免許状の授与資格を有すること	教育学研究科

教育学研究科（教職関係資格）

教育職員免許状の取得方法（履修科目）

（1）小学校教諭専修免許状取得に関する教育課程

科目区分		本学の開設科目名	単位			
			必修	選択	履修年次	履修方法
大学が独自に設定する科目	教科および教科の指導法に関する科目	国語科教育特論	2		1年以上	必修を含め24単位以上選択履修
		社会科教育特論	2		1年以上	
		算数科教育特論	2		1年以上	
		理科教育特論	2		1年以上	
	教育の基礎的理解に関する科目	教師教育学特論		2	1年以上	
		教育思想史特論		2	1年以上	
		教育社会学特論		2	1年以上	
		教育心理学特論		2	1年以上	
		教授学習心理学特論		2	1年以上	
		臨床発達心理学特論		2	1年以上	
		教育学特別研究I（教育・発達分野）		2	1年以上	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法および生徒指導、教育相談に関する科目	教育情報学特論		2	1年以上	
		教育学特別研究II（教育情報分野）		2	1年以上	
	教育実践に関する科目	授業分析研究A（人文社会科学系領域）		2	1年以上	
		授業分析研究B（自然科学系領域）		2	1年以上	
		授業開発研究特論		2	1年以上	

（2）中学校教諭専修免許状（社会）取得に関する教育課程

科目区分		本学の開設科目名	単位			
			必修	選択	履修年次	履修方法
大学が独自に設定する科目	教科および教科の指導法に関する科目	歴史学特論	4		1年以上	必修を含め24単位以上選択履修
		地理学特論	4		1年以上	
		法律学特論		4	1年以上	
		政治学特論	4		1年以上	
		経済学特論	4		1年以上	
		地域調査特別研究（実習を含む）		4	1年以上	
	教育の基礎的理解に関する科目	教師教育学特論		2	1年以上	
		教育思想史特論		2	1年以上	
		教育社会学特論		2	1年以上	
		教育心理学特論		2	1年以上	
		教授学習心理学特論		2	1年以上	
		臨床発達心理学特論		2	1年以上	
		教育学特別研究I（教育・発達分野）		2	1年以上	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法および生徒指導、教育相談に関する科目	教育情報学特論		2	1年以上	
		教育学特別研究II（教育情報分野）		2	1年以上	

（3）高等学校教諭専修免許状（地理歴史）取得に関する教育課程

科目区分		本学の開設科目名	単位			
			必修	選択	履修年次	履修方法
大学が独自に設定する科目	教科および教科の指導法に関する科目	歴史学特論	4		1年以上	必修を含め24単位以上選択履修
		地理学特論	4		1年以上	
		地域調査特別研究（実習を含む）		4	1年以上	
	教育の基礎的理解に関する科目	教師教育学特論		2	1年以上	
		教育思想史特論		2	1年以上	
		教育社会学特論		2	1年以上	
		教育心理学特論		2	1年以上	
		教授学習心理学特論		2	1年以上	
		臨床発達心理学特論		2	1年以上	
		教育学特別研究I（教育・発達分野）		2	1年以上	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法および生徒指導、教育相談に関する科目	教育情報学特論		2	1年以上	
		教育学特別研究II（教育情報分野）		2	1年以上	

（4）高等学校教諭専修免許状（公民）取得に関する教育課程

科目区分		本学の開設科目名	単位			
			必修	選択	履修年次	履修方法
大学が独自に設定する科目	教科および教科の指導法に関する科目	法律学特論	4		1年以上	必修を含め24単位以上選択履修
		政治学特論	4		1年以上	
		経済学特論	4		1年以上	
	教育の基礎的理解に関する科目	教師教育学特論		2	1年以上	
		教育思想史特論		2	1年以上	
		教育社会学特論		2	1年以上	
		教育心理学特論		2	1年以上	
		教授学習心理学特論		2	1年以上	
		臨床発達心理学特論		2	1年以上	
		教育学特別研究I（教育・発達分野）		2	1年以上	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法および生徒指導、教育相談に関する科目	教育情報学特論		2	1年以上	
		教育学特別研究II（教育情報分野）		2	1年以上	

（5）特別支援学校専修免許状取得に関する教育課程

授業科目の区分・名称	本学の開設科目名	単位			
		必修	選択	履修年次	履修方法
特別支援教育に関する科目（知・肢・病）	特別支援教育学特論	2		1年以上	必修を含め24単位以上選択履修
	特別支援教育コーディネーター特論		2	1年以上	
	聴覚障害者教育特論		2	1年以上	
	言語障害者教育特論		2	1年以上	
	知的障害者教育特論	2		1年以上	
	肢体不自由者教育特論	2		1年以上	
	病弱者教育特論	2		1年以上	
	発達障害者教育特論	2		1年以上	
	自閉症者・情緒障害者教育特論		2	1年以上	
	障害児学習支援特論	2		1年以上	
	障害児・者の心理特論		2	1年以上	
	児童精神医学特論		2	1年以上	
	障害児教育支援特論		2	1年以上	
	発達障害児教育実践研究		2	1年以上	
	教育学特別研究 III（特別支援教育分野）		2	1年以上	

XI 長期履修学生規程

（趣　　旨）

第 1 条　この規程は、東北福祉大学（以下「本学」という。）における大学院学則（以下「大学院学則」という。）第 7 条の 2 に基づき、長期履修に関して必要な事項を定める。

（対　象　者）

第 2 条　本学大学院において、長期履修を申請できる者は、本学の通学課程の大学院に入学または在学し、授業科目を履修する者で、次の各号のいずれかに該当し、その事情により学修の時間が制限されるため標準修業年限で修了することが困難となる者とする。

⑴　職業を有し、修業している者（自営業、臨時雇用（単発的なものを除く）、非常勤等を含む）で、修業年限内での修学が困難である者。

⑵　学費を支払うために就労している者。

⑶　家事、育児、介護等などの事情により、修業年限内での修学が困難である者。

⑷　学外の地域で 3 カ月以上の長期滞在の地域貢献および地域共創学修を行う者（以下「長期滞在地域学修学生」という。）

⑸　その他やむを得ない事情を有すると学長が認めた者。

2　一定の期間履修することができない場合は、該当しない。

（申請の手続）

第 3 条　長期履修学生となることを希望する入学予定者は入学願書提出時に、在学生で新たに長期履修を希望する場合においては長期履修開始年度の前年度の 2 月末日までに、長期履修学生申請書（様式第 1 号）に次に掲げる該当書類を添えて、学長に願い出なければならない。但し、在学生のうち、最終年次に在学する者は申請できない。

⑴　長期履修申請書（様式第 1 号）所定用紙

⑵　在職証明書または在職が確認できる書類

⑶　臨時雇用の者については、1 週間当たりの勤務時間数を記載した雇用先の証明または 1 週間当たりの勤務時間数を確認できる書類

⑷　家事、育児、介護等を行う必要がある者については、それを確認できる書類

⑸　長期滞在地域学修学生については、それを確認できる書類または地域創生推進センター地域創生推進室が証明する書類

⑹　その他学長が必要と認める書類

2　申請にあたって、在学生および入学生は長期履修が必要となる理由および長期履修計画を提出する。また、在学生は指導教員の意見を提出する。ただし、在学生のうち外国人留学生は、学生支援センター国際交流支援室長の意見の提出も認める。

3　申請が許可された場合、原則として、長期履修期間中は授業料減免が適用されない。

（許　　可）

第 4 条　長期履修の申請について、研究科委員会の議を経て、学長が許可する。

2　長期履修を許可した場合は、長期履修学生許可書（様式第 2 号）により通知する。

（長期履修期間）

第 5 条　標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認められる期間（以下「長期履修期間」という。）は、年度単位とし、次の各号に掲げるとおりとする。

⑴　入学から長期履修となる場合は、最大 3 年間とする。

⑵　在学途中から長期履修となる場合は、残りの修業年数の 2 倍に相当する年数以内とする。

2　大学院学則第 8 条に定める在学年限は、延長されず、適用されるものとする。

3　休学の期間は、長期履修期間に算入しない。

（授業料等の納付金）

第 6 条　長期履修期間の授業料等の納付金については別に定める。

（長期履修期間の変更）

第 7 条　許可された長期履修期間の短縮または延長を希望する場合は、2 月末までに、長期履修変更申請書（様式第 3 号）および第 3 条第 2 号から第 7 号で該当する書類を研究科長に提出するものとする。ただし、変更は 1 回限りとする。また、長期履修期間の最終年次に在学する者は変更申請できない。

2　長期履修の変更の申請について、研究科委員会の議を経て、学長が許可する。

（許可の取消）

第 8 条　長期履修申請に関し、次の各号に掲げることが明らかになった場合は、研究科委員会の議を経て学長が長期履修の許可を取り消すことができる。

⑴　虚偽の長期履修申請をした場合

⑵　長期履修の学生として不適格な場合

（事　　務）

第 9 条　長期履修に関する事務は、大学院事務室（ウェルコム21事務室）が行う。

（補　　則）

第10条　この規程に定めるもののほか、長期履修に関し必要な事項は、別に定める。

附　　則

1．この規程は、平成27年 4 月 1 日から施行する。

2025年度

東北福祉大学大学院

教育学研究科

修士課程
入学試験過去問題

（令和４年度～令和６年度）

入学試験過去問題目次

〔修士課程〕

教育学専攻（一般選抜）…… 1

教育学専攻（社会人選抜）…… 2

教育学専攻（特別選抜）…… 4

教育学専攻

修士課程

一般選抜・社会人選抜・特別選抜

令和5年度　東北福祉大学大学院修士課程（一般選抜）入学試験（Ⅱ期）

教育学専攻【一般選択】問題

【必修問題】
①全員解答しなさい。
②解答は別紙必修問題用解答用紙に記入しなさい。

子どもの権利及び人権を尊重する思想の歴史を述べ、さらに日本の子どもの権利及び人権の現況と課題について述べなさい。

【選択問題】
①次の問題【1】～【3】より２問選択し、解答しなさい。
②解答は、論題番号が記されている別紙解答用紙に記入しなさい。

【問題１】
2015年９月の「国連持続可能な開発サミット」では、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを目指して、17のゴール（目標）と169のターゲットから構成される「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択された。このうち教育にかかわるゴール（目標）4とそのターゲットについて知るところを述べ、中学校社会科の授業において、これらのゴール（目標）・ターゲットの理解や実現・達成に向けてどのような学習が考えられるか、あなたの考えを述べなさい。

【問題２】
「共生社会」の形成に向けたインクルーシブ教育システムを構築するために必要な特別支援教育の在り方について、あなたの考えを述べなさい。

【問題３】
近年、教育の情報化が進み、教育現場で使用する「教科書」についても次のような新たな動きが出ている。

令和２年度から実施される新学習指導要領を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善や、特別な配慮を必要とする児童生徒の学習上の困難低減のため、学習者用デジタル教科書を制度化する「学校教育法等の一部を改正する法律」等関係法令が平成31年４月から施行されました。これにより、これまでの紙の教科書を主たる教材として使用しながら、必要に応じて学習者用デジタル教科書を併用することができるようになりました。
※ここでの「学習者用デジタル教科書」とは、紙の教科書の内部の全部（電磁的記録に記録することに伴って変更が必要となる内容を除く。）をそのまま記録した電磁的記録である教材を指します。

<学習者用デジタル教科書>

引用：文部科学省「学習者用デジタル教科書について」より
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/digital/1419745_00001.htm

今後、教育現場で急速に普及することが予測される「学習者用デジタル教科書」について、その利点と指導上配慮すべき事項の2つの視点からあなたの考えを述べなさい。

令和5年度　東北福祉大学大学院修士課程（一般選抜）入学試験（Ⅱ期）
教育学専攻【英語】問題

【問題】以下の英文を読んで、和訳しなさい。

The foundations of sociocultural theory lie in the work of Vygotsky who argued that the acquisition and use of language transforms children's thinking. He described language as both a cultural tool (for the development and sharing of knowledge amongst members of a community or society) and as a psychological tool (for structuring the processes and content of individual thought). He also proposed that there is a close relationship between these two kinds of use, which can be summed up in the claim that 'intermental'(social, interactional) activity forges some of the most important 'intramental'(individual, cognitive) capabilities, with children's involvement in joint activities generating new understandings and ways of thinking. This sociocultural theory not only links the social and the psychological in an account of cognitive development, but also provides a theoretical basis for the primacy of language as a cultural and cognitive – and hence educational – tool.

This theoretical case for the prime role of language in cognitive development and learning has several strands. The first strand concerns the collective process of constructing knowledge (whether amongst students or between teacher and students). This process must, by its nature, involve induction into reasoned argument. Although the most obvious focus of education is on the teaching and learning of curriculum knowledge, it would be surprising to find many teachers who did not think that their students should be learning how to construct arguments to support any opinions, analyses, solutions, or conclusions that they present.

出典：Neil Mercer, Sara Hennessy, Paul Warwick (2019). Dialogue, thinking together and digital technology in the classroom: Some educational implications of acontinuing line of inquiry. *International Journal of Educational Research* 一部改変。

令和5年度　東北福祉大学大学院修士課程（社会人選抜）入学試験（Ⅰ期）
教育学専攻【小論文】問題

①下記の問題文を読み、1000字以上1400字以内で答えなさい。
②解答は別紙解答用紙に記入しなさい。

〈問題文〉

学校種にかかわらず、学校教員の“多忙”“長時間労働”について、国内外の実態・意識調査、学識者の著作等で指摘され、さまざまなメディアでも報道されていることが少なくない。このことを踏まえて、さまざまなレベル（地域（保護者）、学校、同僚、自分個人、等）に視野を広げて、「教員として学び続ける」ために実現可能な工夫と課題について、あなたの考えを述べなさい。

教育学専攻【小論文】問題

①下記の問題文を読み、1000字以上1400字以内で答えなさい。
②解答は別紙解答用紙に記入しなさい。

○現行の学習指導要領等において、各教科における「言語活動の充実」が謳われている。小・中・高等学校のいずれの「言語活動の充実に関する指導事例集（文部科学省）」の中でも次のような活動が思考力・判断力・表現力を育むことにとって必要不可欠であると解説されている。

平成20年答申においては，思考力・判断力・表現力等を育むためには，例えば，次のような学習活動が重要であり，このような活動を各教科等において行うことが不可欠であるとしている。
(1) 体験から感じ取ったことを表現する
（例）・日常生活や体験的な学習活動の中で感じ取ったことを言葉や歌，絵，身体などを用いて表現する

(2) 事実を正確に理解し伝達する
（例）・身近な動植物の観察や地域の公共施設等の見学の結果を記述・報告する

(3) 概念・法則・意図などを解釈し，説明したり活用したりする
（例）・需要，供給などの概念で価格の変動をとらえて生産活動や消費活動に生かす
・衣食住や健康・安全に関する知識を活用して自分の生活を管理する

(4) 情報を分析・評価し，論述する
（例）・学習や生活上の課題について，事柄を比較する，分類する，関連付けるなど考えるための技法を活用し，課題を整理する
・文章や資料を読んだ上で，自分の知識や経験に照らし合わせて，自分なりの考えをまとめてＡ４・１枚（1000字程度）といった所与の条件の中で表現する
・自然事象や社会的事象に関する様々な情報や意見をグラフや図表などから読み取ったり，これらを用いて分かりやすく表現したりする
・自国や他国の歴史・文化・社会などについて調べ，分析したことを論述する

(5) 課題について，構想を立て実践し，評価・改善する
（例）・理科の調査研究において，仮説を立てて，観察・実験を行い，その結果を整理し，考察し，まとめ，表現したり改善したりする
・芸術表現やものづくり等において，構想を練り，創作活動を行い，その結果を評価し，工夫・改善する

(6) 互いの考えを伝え合い，自らの考えや集団の考えを発展させる
（例）・予想や仮説の検証方法を考察する場面で，予想や仮説と検証方法を討論しながら考えを深め合う
・将来の予測に関する問題などにおいて，問答やディベートの形式を用いて議論を深め，より高次の解決策に至る経験をさせる

（文科省ホームページ：http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/gengo/1300857.htm より抜粋）

以上の解説を踏まえた上で、学校種、教科等を明示して、言語活動の促進例を挙げながらその効果と課題について論じなさい。

令和4年度　東北福祉大学大学院修士課程（特別選抜）入学試験（Ⅰ期）

教育学専攻【小論文】問題

①下記の問題文を読み、1000字以上1400字以内で答えなさい。
②解答は別紙解答用紙に記入しなさい。

「SDGs」という考えがさまざまな産業界だけでなく教育現場に取り入れようという考えがあり、すでに就学前教育や学校教育等の教育現場で実践されている事例も報告されている。このように「SDGs」を学校現場に取り入れた場合、子どもたちの教科学習にとってどんな効果があると考えられるのか、そして、取り入れるためにはどんな課題があるのかについて、あなたの考えを述べなさい。

令和5年度　東北福祉大学大学院修士課程（特別選抜）入学試験（Ⅰ期）

教育学専攻【小論文】問題

①下記の問題文を読み、1000字以上1400字以内で答えなさい。
②解答は別紙解答用紙に記入しなさい。

〈問題文〉

長期間にわたり新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならない社会状況にある今日において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴って児童生徒の「学びの保障」も大切であるといわれている。実際、文部科学省によって次の4つの基本的な考え方が示され、各自治体や教育委員会でもさまざまな取り組みが実行されている。

①臨時休業中も、学びを止めない
②速やかに、できるところから学校での学びを再開する
③あらゆる手段を活用し、学びを取り戻す
④柔軟な対応の備えにより、学校ならではの学びを最大限確保
（「新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の「学びの保障」のための学習指導について」令和2年6月9日　文部科学省初等中等教育局教育課程課　より抜粋）

そこで、あなたが実際のある学校現場の教員になったとしたら、教員個人や「チーム学校」というレベルでどんな工夫ができるか、そしてその工夫を実現するためにどんな課題があるのか、あなたの考えを述べなさい。
※具体的な校種や教科を、指定してもしなくても構わない。

令和6年度　東北福祉大学大学院修士課程（特別選抜）入学試験（Ⅰ期）

教育学専攻【小論文】問題

①下記の問題文を読み、1000字以上1400字以内で答えなさい。
②解答は別紙解答用紙に記入しなさい。

「失敗から学ぶことが大切である」という言葉がある。その一方で、今日の児童生徒の中には、失敗するということや間違う事を避けるために「学習意欲」が高まらない傾向があることも指摘されている。

そこで、「失敗から学ぶことが大切である」ということについてのあなたの考えを述べた上で、あなたが実際のある学校現場の教員になった際にそうした児童生徒と向き合うことになった場合、どんな工夫を取り入れていきたいのか、そしてその工夫を実現するためにどんな課題があるのか、あなたの考えを述べなさい。

※具体的な校種や教科を、指定してもしなくても構わない。

令和3年度　東北福祉大学大学院修士課程（特別選抜）入学試験（Ⅱ期）

教育学専攻【小論文】問題

①下記の問題文を読み、1000字以上1400字以内で答えなさい。
②解答は別紙解答用紙に記入しなさい。

文部科学省の答申では「キャリア」という言葉の意味を、次のように解説している。

> (1) キャリアとは
> 人は、他者や社会とのかかわりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きている。これらの役割は、生涯という時間的な流れの中で変化しつつ積み重なり、つながっていくものである。また、このような役割の中には、所属する集団や組織から与えられたものや日常生活の中で特に意識せず習慣的に行っているものもあるが、人はこれらを含めた様々な役割の関係や価値を自ら判断し、取捨選択や創造を重ねながら取り組んでいる。
> 人は、このような自分の役割を果たして活動すること、つまり「働くこと」を通して、人や社会にかかわることになり、そのかかわり方の違いが「自分らしい生き方」となっていくものである。
> このように、人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねが、「キャリア」の意味するところである。[1) 2)]
> （中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」（平成23年１月31日））

この定義や各自が経験してきた「キャリア教育」を踏まえて、「学校教育におけるキャリア教育」として将来実施したい活動や実施にともなう課題について、あなたの考えを述べなさい。

※[1)]“経験してきた「キャリア教育」を踏まえて”については、学校種を指定する必要はない。また、“踏まえる”ことは、回答の必須事項ではない。
※[2)]“あなたの考えを述べる”については、学校種を明示すること。

教育学専攻【小論文】問題

①下記の問題文を読み、1000字以上1400字以内で答えなさい。
②解答は別紙解答用紙に記入しなさい。

（対話型）生成AI（ChatGPT、Bing　chat、Bard等）が社会に急速に普及している現状を踏まえて、児童生徒の「情報活用能力」を育成していくためには、学校教育でどんな活動を取り入れていくことが必要だと思うか。あなたの考えを述べなさい。

※具体的な校種や教科を、指定してもしなくても構わない。

入 学 志 願 票

（一　般）

2025 年度

東北福祉大学大学院教育学研究科入学志願票

受験番号※

年　月　日

東北福祉大学長　殿

氏名（ふりがな）　印　（男・女）

生年月日（西暦）　年　月　日生（満　歳）

貴学大学院教育学研究科教育学専攻修士課程入学志願につき所定の書類を添え出願いたします。

写真
3 cm × 4 cm
上半身脱帽正面向きで3カ月以内に撮影したもので、写真裏面に出身大学名および氏名を記入のうえ全面糊付すること。

年　月　日撮影

入学資格	国立・公立・私立 大学 学部 学科専攻 年 月 日 卒業・卒業見込	
現住所	（〒　）	TEL （　） 携帯 （　） E-mail
帰省先	（〒　）	TEL （　）
勤務先名	部 課 （職名）	
勤務先住所	（〒　）	TEL （　）
等受信先合否通知書	（〒　）	TEL （　）
本人の履歴 学歴	年　月	高等学校卒業
	年　月	□専門学校 □短大 □大学 入学
	年　月　第　学年編入	（編入学の場合記載してください）
	年　月	□専門学校 □短大 □大学 卒業・卒業見込
	年　月	高等学校卒業程度認定試験 大学入学資格検定試験 合格
本人の履歴 職歴	年　月	
	年　月	
	年　月	

注1．合否通知書等受信先は必ず記入のこと（受信先は帰省先が望ましい）。
注2．※は記入しないこと。
※記入された個人情報については、東北福祉大学大学院入試業務のために利用するものであって、その他の目的に使用することは一切ありません。

卒業論文題名			
卒業論文概要 (卒業見込者も必ず記入のこと)			
アルバイトの必要性	有　　無	修了後の進路・目標	
外国語(英語)の免除	有　　無 (詳細については、出願書類提出注意事項一覧を確認してください)		
免許・資格			
長期履修制度の利用	す る　・　しない (詳細については、P. 25 を確認してください)		
備　考			

注1．すでに大学を卒業している志願者は学部の卒業論文（コピー可）を提出のこと（作成者のみ）。
注2．大学卒業見込の志願者は卒業論文の概要を所定の欄に記入のこと（作成者のみ）。

振込受付証明書

貼付

（社 会 人）

2025 年度

東北福祉大学大学院教育学研究科入学志願票

受験番号※

年　月　日

東北福祉大学長　殿

氏名（ふりがな）　印　（男・女）

生年月日（西暦）　年　月　日生（満　歳）

貴学大学院教育学研究科教育学専攻修士課程入学志願につき所定の書類を添え出願いたします。

写真
3 cm × 4 cm
上半身脱帽正面向きで3カ月以内に撮影したもので、写真裏面に出身大学名および氏名を記入のうえ全面糊付すること。

年　月　日撮影

入学資格	国立・公立・私立 大学 学部 学科 専攻 年　月　日　卒業・卒業見込	
現住所	（〒　）	TEL　（　） 携帯　（　） E-mail
帰省先	（〒　）	TEL　（　）
勤務先名	部　課 （職名）	
勤務先住所	（〒　）	TEL　（　）
合否通知書等受信先	（〒　）	TEL　（　）
本人の履歴 学歴	年　月	高等学校卒業
	年　月	□専門学校 □短大 □大学 入学
	年　月　第　学年編入	（編入学の場合記載してください）
	年　月	□専門学校 □短大 □大学 卒業・卒業見込
	年　月	高等学校卒業程度認定試験 大学入学資格検定試験 合格
本人の履歴 職歴	年　月	
	年　月	
	年　月	

注1．合否通知書等受信先は必ず記入のこと。
注2．※は記入しないこと。
※記入された個人情報については、東北福祉大学大学院入試業務のために利用するものであって、その他の目的に使用することは一切ありません。

卒業論文題名			
卒業論文概要			
アルバイトの必要性	有　　無	修了後の進路・目標	
免許・資格			
長期履修制度の利用	す る　・　しない （詳細については、P. 25 を確認してください）		
備　考			

注 1．すでに大学を卒業している志願者は学部の卒業論文（コピー可）を提出のこと（作成者のみ）。
注 2．大学卒業見込の志願者は卒業論文の概要を所定の欄に記入のこと（作成者のみ）。

振込受付証明書

貼付

（特別選抜（学内））

2025 年度

東北福祉大学大学院教育学研究科入学志願票

受験番号※

年　月　日

東北福祉大学長　殿

氏名（ふりがな）　印　（男・女）

生年月日（西暦）　年　月　日生（満　歳）

貴学大学院教育学研究科教育学専攻修士課程入学志願につき所定の書類を添え出願いたします。

写真
3 cm × 4 cm
上半身脱帽正面向きで3カ月以内に撮影したもので、写真裏面に出身大学名および氏名を記入のうえ全面糊付すること。

年　月　日撮影

入学資格	東北福祉大学　学部　学科専攻 年　月　日　卒業見込	
現住所	（〒　）	TEL　（　） 携帯　（　） E-mail
帰省先	（〒　）	TEL　（　）
勤務先名	部　課 （職名）	
勤務先住所	（〒　）	TEL　（　）
合否通知書等受信先	（〒　）	TEL　（　）
本人の履歴 学歴	年　月	高等学校卒業
	年　月	□専門学校 □短大 □大学　入学
	年　月　第　学年編入	（編入学の場合記載してください）
	年　月	卒業見込
	年　月	高等学校卒業程度認定試験 大学入学資格検定試験　合格
本人の履歴 職歴	年　月	
	年　月	
	年　月	

注1．合否通知書等受信先は必ず記入のこと（受信先は帰省先が望ましい）。
注2．※は記入しないこと。
※記入された個人情報については、東北福祉大学大学院入試業務のために利用するものであって、その他の目的に使用することは一切ありません。

卒業論文題名			
卒業論文概要			
アルバイトの必要性	有　　無	修了後の進路・目標	
免許・資格			
長期履修制度の利用	す る　・　しない （詳細については、P. 25 を確認してください）		
備　考			

注 1．すでに大学を卒業している志願者は学部の卒業論文（コピー可）を提出のこと（作成者のみ）。
注 2．大学卒業見込の志願者は卒業論文の概要を所定の欄に記入のこと（作成者のみ）。

振込受付証明書

貼付

志 望 理 由 書

東北福祉大学大学院教育学研究科

受験番号※

※記入しないでください

志 望 理 由 書

【作成上の注意】
Ⅰ．自筆またはパソコン可。
Ⅱ．パソコンの場合は、P13を参照のこと。
Ⅲ．次の項目を中心に記入のこと。　①志望動機　②将来の進路志望
③入学後の目標と抱負

志望する専攻	教育学専攻	ふりがな 氏　名	

（左右22字×天地22行＝484字）1

志望理由書

2

（左右22字×天地28行＝616字）

志望理由書

ふりがな	
氏　名	

（左右22字×天地28行＝616字） 3

志望理由書

4

（左右22字×天地28行＝616字）

研 究 計 画 書

東北福祉大学大学院教育学研究科

受験番号※

※記入しないでください

【作成上の注意】
Ⅰ．自筆またはパソコン可。
Ⅱ．パソコンの場合は、P13を参照のこと。

研 究 計 画 書

志望する専攻	教育学専攻	ふりがな	
		氏　　名	

研究テーマ（　　）

研究計画

研 究 計 画 書

（左右22字×天地27行＝594字）

研 究 計 画 書

ふりがな	
氏　　名	

（左右22字×天地27行＝594字）

研 究 計 画 書

（左右22字×天地27行＝594字）

研 究 計 画 書

ふりがな	
氏　　名	

（左右22字×天地27行＝594字）

研 究 計 画 書

（左右22字×天地27行＝594字）

該当者のみ

職 務 経 歴 書

志望課程	○印をつけること
修士課程出願用（一　般）	
修士課程出願用（社会人）	

※志願者で社会人経験のある方は記入のこと。

受験番号	※

※記入しないでください

職務経歴書

年　　月　　日

氏名　　㊞

	勤務期間	勤務先	主な職務内容
職歴	～		
	～		
	～		
	～		
	～		
	～		
	～		
	～		
	～		
	～		

研究計画に関する過去の職務内容

研究業績等【論文、報告書（社内報を含む）、口頭などの発表があれば、その題名、発表機関、発表年月などを記入】

東北福祉大学大学院

2025年度　東北福祉大学大学院　住所票（合否通知書等送付用）

本票は、合否通知書等（入学手続等を含む）の送付用として使用するので、あなたの住所「合否通知書等受信先」、氏名および郵便番号を正確に記入の上、忘れずに出願書類と一緒に提出してください。

● ①、②、③とも、同じ住所等を記入してください。

①

合否通知書等 送　付　先	〒　　－	受験番号	※
		様	
志望専攻	修士課程（教育学専攻）		

②

合否通知書等 送　付　先	〒　　－	受験番号	※
		様	
志望専攻	修士課程（教育学専攻）		

③

合否通知書等 送　付　先	〒　　－	受験番号	※
		様	
志望専攻	修士課程（教育学専攻）		

◆ 太枠内は全て記入してください。

◆ ※欄は、記入しないでください。

キリトリ